



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

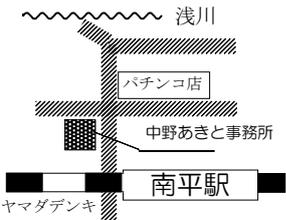
みどりと清流

中野あきと事務所 第157号
〒191-0041 日野市南平6-25-1
南平ビル1階 2015年
TEL・FAX 042-599-3350 8月号
発行責任者 小林 進

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円
日曜版1ヶ月 823円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



空前の行動、国会周辺から全国へ
「戦争法案」は何んとしても止める
中野あきと

■衆議院で強行したが...

7月16日、安倍政権は、衆議院本会議で「戦争法案（安保法制）」を強行採決しました。この事態を受けてNHKなど一部マスメディアは「成立の公算が大」と報道。政権幹部からは「いつとき批判は強まるが、少したてば収まっていく」との樂觀の声が聞こえてきました。

■全国各地で空前のたたかいが

ところが、国会前で抗議行動を続ける学生や若者はじめ、全国各地でのたたかいは終息どころか逆に空前の規模で広がり、その声は「アベ止める」と政権打倒へと発展しています。

作家の澤地久枝さんやジャーナリストの鳥越俊太郎さんなどの呼びかけで、18日には『アベ政治は許さない』のポスターを一斉に掲げる取り組みがあり、市内でも各地で取り組みがまじりました。市民が一人で駅前でポスターを静かに掲げていたり、車のフロントガラスの内側に置かれていた家もありました。1万2千人を超える学者・研究者が反対

の態度を表明。先日は高校生が呼びかけて渋谷で5千人のパレードが行われました。

■政権支持と不支持が逆転

全ての世論調査で政権に対する支持と不支持が逆転。参議院で反転攻勢を目論んだものの、審議すればするほどその違憲性、危険性はクリアになるばかりで、とうとう磯崎陽輔総理補佐官からは「法的安定性など関係ない」と、法治否定の本音まで飛び出しました。

追い詰められているのは明らかに安倍政権です。しかし意に介さないかのように問題を正面から論じ、まっとうな結論を導き出すという議論の倫理を壊してもなお突き進むとする安倍首相に対して、言い知れぬ不安と怒りが更に広がっているのが現状ではないでしょうか。

■陣営内からも...

広島県の自民党県議が反対ののろしをあげ、公明党の支持母体である創価学会の会員の中からも反対の良心の声が聞こえてき

ます。世論は政治を動かします。8割が反対した新国立競技場の建設計画は、ついに白紙撤回となりました。

■あと一步、反対の世論を!

この法案だけは絶対に止めなければならぬ。法案反対の世論が6割から7割、更に8割と広がれば政権は立ち往生です。8月、あらゆる努力をしたい。

8・23ピースパレードを空前の規模で成功させましょう。私も全力でがんばります。

第2回
戦争はいやだ!
平和憲法守ろう!



ピースパレード

日時 8月23日(日)
午後3時30分〜5時
場所 大木島自然公園集合
高幡不動駅北口から
徒歩10分。「ふれあい橋」渡ってすぐ。

集会後、高幡不動駅南口までパレードします。思いを書いたボード、仮装、鳴り物など持ち寄って一緒に歩きましょう。

短信

8月は鮎釣りの盛期である。釣れるサイズは20センチを超えるものもあるが中型も釣れてくる。シーズン途中に再放流するからである▼現在の鮎釣りには放流魚に頼って成り立っていて、天然遡上だけの河川はほとんど無い。放流ものと天然ものの区別は、放してからの日数が経つと見分けが難しい▼鮎の放流の歴史は100年になる。琵琶湖の鮎が小さいのは餌が十分ではないからだとし、他の河川に移せば大きくなるのではと、東京帝国大学の石川千代松博士が1913年、多摩川に琵琶湖鮎300匹を放流したのが始まりである。「青梅簡保の宿」の付近である。羽村の堰の上流部には鮎が見られなかったものが、放流後大型の鮎が採れ博士の説が実証されたのであった。そこから全国へ瞬く間に広まったという▼先人の研究と努力のお蔭で鮎釣りを楽しんでいるのだが、本来は天然遡上を増やす必要がある。そのためには無駄なダムや堰を造らず、むしろ取り壊すなど、川の力を取り戻したいものだ▼戦争する国ならしてしまつたら、のんびりと鮎釣りを楽しんでいるわけにはいかない。平和でこそ余裕が生まれる。我が釣りの仲間が全員「戦争法案」に反対だ。(H)

市営駐輪場の有料化問題

ぜひ、ご意見、ご要望を
お聞かせください！

6月1日から、日野市営駐輪場の有料化が実施されました。

日本共産党市議団は、(1) 環境にやさしく健康づくりにも有効な自転車利用の流れに逆行し、(2) 生活が大変な市民の暮らしに更なる負担になる、と有料化に反対するとともに、鉄道事業者など事業者の責任と負担による駐輪場や財源の確保、自転車レーンの整備などを提案してきました。

有料化の実施後、「自転車をとめるところがなくなつて困っている」「これでは自転車は利用するなどいつに等しい」などのご意見をいただいています。

党市議団は、実態をつかんで是正や改善の提案を行うべく、調査をすすめています。ぜひ、率直なご意見、改善のご要望等お気軽にお聞かせ下さい。



有料化された駐輪場



南平7丁目の用水路 早急に転落防止柵の設置を！

南平7丁目にある用水路は、道路脇にあるにもかかわらずガードレールなどの転落防止柵がありません。先日、転落された方が中野あきと事務所に相談に来られ、いっしょに日野市に申し入れを行いました。

ご本人から「転落してケガをしたのは私だけではない。近所の子どもも転落している。危険な状況であり、転落防止柵を設置すべきだ」との訴えがあり、私の方からも「危険な状況であることは明らかだ、必要な予算の手立てをとって早急に対応すべきだ」と要求しました。一刻も早く対策が講じられるよう、日野市に引き続き求めていきます。

中野あきと



用水路を調査する中野市議

ことしは被爆70周年 核兵器廃絶へ

中野あきと市議は原水爆禁止世界大会・長崎大会に参加

被爆70年、核兵器は依然として世界中に保有されています。

節目の今年の原水爆禁止世界大会は、8月4日から9日まで連続して広島と長崎で開催されます。中野市議は7日から9日までの長崎での大会に参加します。

それに先立ち、恒例の「日野市内の国民平和大行進」が7月17日に行われ、中野市議もその先頭に立って「核兵器廃絶」を訴えました。

なお、原水爆禁止世界大会には日野市から8人が参加する予定です。皆様のご支援をお願いします。



平和行進の先頭を歩く中野市議
(左から2人目)



「戦争法案許すな！」自宅に自作ポスター

平山4丁目に住む加藤さんは自宅の玄関に「戦争法案」反対の自作のポスターを張り出しています。

加藤さんは「近所の戦争法案反対で署名を集めているが、自分も意思表示しなくては」と考えてこのようにしたそうです。

クレヨンで画用紙に描いたそうです。平山小学校の通学路にある加藤さんの家、ポスターがよく目立っています。

加藤さん自作ポスター



《2015年 9月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
9月 10日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。